



創立20周年記念

なかうみ交響楽団 第18回演奏会

〔指揮〕
水間 満

Mitsuru Mizuma

〔ヴァイオリン独奏〕
玉井菜採 (東京藝術大学教授)

〔使用ヴァイオリン〕
ストラディヴァリウス
「エクス・パーク」
(1717年製) (東京藝術大学所蔵)

Program

ヘンデル 組曲「水上の音楽」より
チャイコフスキー 「ヴァイオリン協奏曲」ニ長調 作品35
ブラームス 「交響曲第1番」ハ短調 作品68



Natsumi Tamai

2025 **10/5** 日 14:30開演
〈14:00開場〉
(16:20終演予定)

安来市総合文化ホール
「アルテピア」大ホール

入場料

全席
自由

一般 2,000円 (当日2,500円)
高校生以下無料 (要整理券)

※未就学のお子様のご入場はご遠慮ください。

■チケット(整理券)取扱所

〈安来市内〉 アルテピア、安来市観光交流プラザ(安来駅構内)、島田萬年堂、カメラのハマダ
〈松江市内〉 島根県民会館チケットコーナー、プラバホール、タカキ楽器店
〈米子市内〉 米子市公会堂、米子市文化ホール、米子コンベンションセンター、らばん、
アルテプラザ(米子駅前ショッピングセンター4F)

※チケットの郵送をご希望の方はご連絡ください。
問い合わせ先／☎090-8605-1615(角)

主催:なかうみ交響楽団

共催:安来市総合文化ホール アルテピア

楽譜協力:JAOミュージックライブラリー

後援:島根県、鳥取県、安来市、松江市、出雲市、米子市、境港市、山陰中央新報社、やすぎどじょこテレビ、安来音楽協会

安来駅～アルテピア 無料送迎いたします

曲目解説

水間 満

◆ヘンデル作曲／組曲「水上の音楽」より

ヘンデルは、バロック音楽の最盛期(18世紀前半)に活躍した、イギリスの国民的な作曲家です。この曲は、国王ジョージ1世のために書かれ、テムズ川に浮かべた船の上で演奏されたという逸話が残っています。今回はこの組曲の中から、「アレグロ」「エアー」「アラ・ホーンパイプ」を演奏します。優雅な船上音楽を味わってください。

◆チャイコフスキー作曲／「ヴァイオリン協奏曲」ニ長調 作品35

この曲は1878年に作曲されました。ベートーヴェン、メンデルスゾーン、ブラームスのヴァイオリン協奏曲にチャイコフスキーのこの作品を加えて、「4大ヴァイオリン協奏曲」と呼ばれることもあります。初演当時はあまり理解されずに、厳しい批判にさらされたそうですが、多くのすぐれた奏者たちによって演奏が繰り返されるうちに、だんだんとこの曲の真の価値も多くの人々に認められるようになりました。

◆ブラームス作曲／「交響曲第1番」ハ短調 作品68

1876年、ブラームスが43歳の時に、この「交響曲第1番」はようやく完成しました。彼がこの作曲を最初に構想してから約20年という長い時間が費やされています。ブラームスはベートーヴェンが書いた九つの交響曲をとてとても尊敬すると同時に大きなプレッシャーも感じていたようで、何とかしてベートーヴェン以上の交響曲を書きたいと思っていたようです。それだけに実に緻密で、深く豊かな抒情性が見事に表現されています。

プロフィール



〈指揮者〉水間 満

島根県出雲市出身。島根県立出雲高等学校を経て、京都市立芸術大学音楽学部クラリネット専修を卒業。クラリネットを朝比奈千足、故村瀬二郎、故村井祐児の各氏に師事。

大学在学中に、アマチュアやプロのオーケストラの様々な演奏活動に参加する。大学卒業後、島根に帰り

中学校の教員となり、その後、島根県吹奏楽連盟理事長、島根県音楽教育連盟会長、中国吹奏楽連盟副理事長等を歴任する。

現在、島根大学教育学部非常勤講師、『なかうみ交響楽団』指揮者、雲南市「ラメール・マスターズ・プロジェクト」講師、「島根第九をうたう会」オーケストラ指導部長。また、山陰クラリネットアンサンブル「ラコランジュ」主宰、「ミルフィーユ木管五重奏団」の団長も務める。

平成26年度「島根県文化奨励賞(個人の部)」受賞。



©尾形正茂

〈ヴァイオリン独奏〉玉井葉採

京都に生まれ、4歳よりヴァイオリンをはじめ。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学卒業。在学中にプラハの春国際音楽コンクールヴァイオリン部門に優勝、併せて審査委員長特別賞を受賞。東儀祐二、小國英樹、久保田良作、立田あづさ、和波孝禧ら諸氏に師事。

大学卒業後に渡欧、アムステルダム・スウェーリンク音楽院にてヘルマン・クレバース氏に、また、ミュンヘン音楽大学にてアナ・チュマチェンコ氏に師事。この間、J.S.バッハ国際コンクール最高位をはじめ、エリザベート王妃国際コンクール、シベリウス国際コンクールなど、数々のコンクールに優勝、入賞している。

ソリストとして国内外のオーケストラと共演。日本およびヨーロッパ各地でリサイタルを行い、室内楽奏者としての信頼も厚い。紀尾井ホール室内管弦楽団コンサートマスター、東京クライスアンサンブルのメンバー、アンサンブル of トウキョウのソロヴァイオリニストとしても活躍している。

文化庁芸術祭賞音楽部門新人賞、平和堂財団音楽奨励賞、音楽クリティッククラブ奨励賞、ABC音楽賞クリスタル賞、京都府文化賞奨励賞など多くの賞を受賞。

現在、東京藝術大学教授。

松江プラバホールで2回(2002年、2010年)、安来市総合文化ホール・アルテピアで2回(2018年、2019年)のリサイタルを開催。なかうみ交響楽団とも第8回演奏会(2011年)及び第11回演奏会(2014年)で共演している。

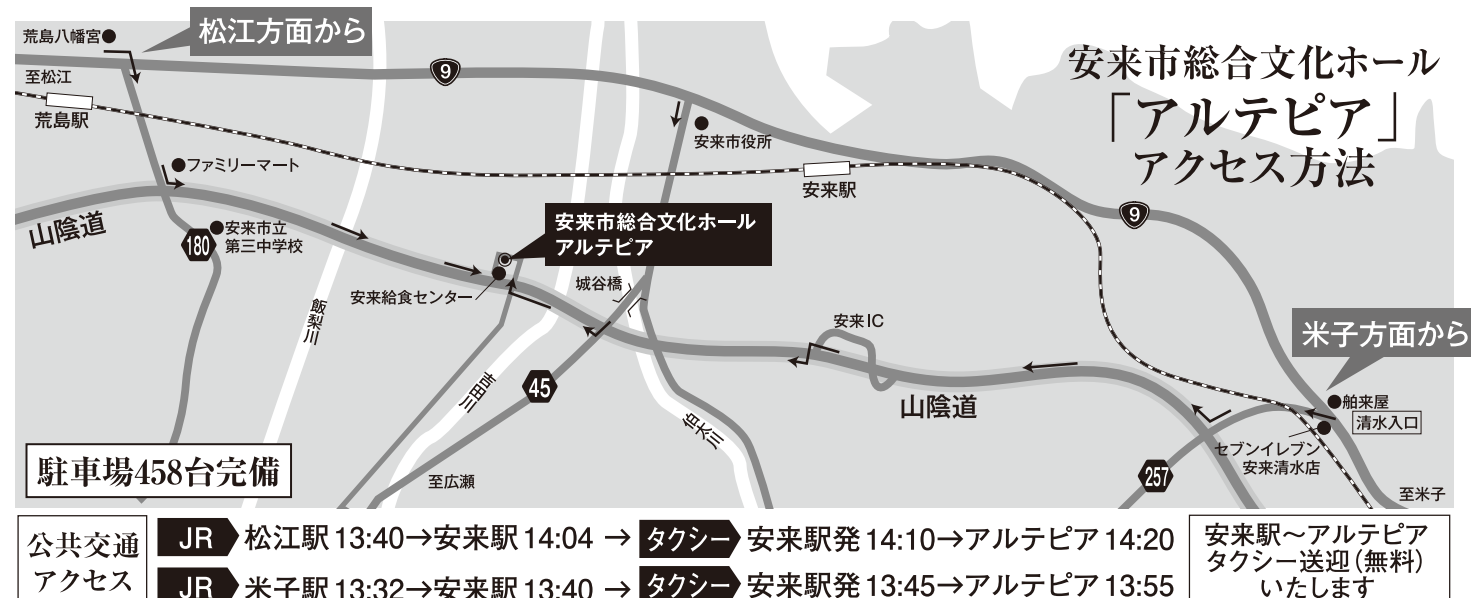
なかうみ交響楽団

なかうみ交響楽団は2004年11月に島根県・鳥取県・岡山県の広範な地域から集まった熱心な音楽愛好者で組織したアマチュアオーケストラです。演奏者と観客との「感動の共有」を合言葉に、山陰との繋がりの深いソリストとの共演や名曲といわれている交響曲の演奏を軸に、本格的なクラシック音楽の普及に取り組んでいます。

2017年からは、活動拠点を島根県民会館から新設された安来市総合文化ホール・アルテピアに移し、小さな地方都市でもキラリと光る演奏を目指して地域に根付いた活動を続けています。

2019年から2022年にかけてベートーヴェンの生誕250年を記念して、アマチュアオーケストラでは全国的にも珍しいベートーヴェン交響曲全曲演奏(ベートーヴェン・チクルス)を達成しました。

2023年3月にはこうした活動が評価され「島根県文化奨励賞」を受賞しました。



※JRの時刻が変更になる場合がありますので当日の時刻はご確認ください。